



自衛隊音楽まつりで広報ブースを開設

自衛隊東京地方協力本部（本部長 山下陸将補）は11月18日及び19日の2日間、令和4年度自衛隊音楽まつりが開催された日本武道館にて広報活動を実施した。

今回の自衛隊音楽まつりは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3年ぶりの開催となった。

当日は、武道館会場に設けた広報ブースで感染対策をとりつつ、ヘリの体験搭乗や音楽隊の演奏会を特賞とした抽選会を実施した。来場者に講演前から積極的にお知らせした成果により、公演終了後には広報ブースに長蛇の列ができるほど大盛況で、当選お知らせのベルが鳴るたびに歓声があがるなど、大いに盛り上がった。

抽選会に参加した来場者からは「音楽を聴けて、ヘリに乗れるかもしれないなんて、当たったらどうしよう！」等の声が聞かれた。

東京地本では今後もあらゆる機会を活用して募集に直結した広報活動を実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げるとしている。



専門学生に多様な職業を説明

自衛隊東京地方協力本部八王子地域事務所（所長 小川一陸尉）は11月19日及び20日の2日間、トヨタ自動車大学専門学校の学校祭において自衛隊セミナー及び展示品の説明を行った。

自衛隊セミナーでは「人を守るやりがい」「職業としての多様性」「段階的な人としての成長」に留意し、専門学校で学んでいる事を活かして活躍できるフィールドが自衛隊にもあることなどを踏まえ、2日間で述べ12回、計67名の参加者に説明を行なった。

装備品等の展示コーナーでは、普段あまり目にする事のない車両や装備品などに対して、興味津々な参加者が熱心に説明を聞く姿が見られた。

参加した学生からは「自衛隊に対するイメージが変わった」「自衛隊を職業の選択肢のひとつとして考えたい。」などの意見が聞かれ、自衛隊に対する理解の促進と受験意欲の向上が図れた様子であった。

八王子地域事務所では、今後も学校や募集対象者のニーズに応じた活動を行うとともに、地域と密着した広報活動を実施して防衛省・自衛隊に対する理解を深め、自衛官募集業務に対する協力関係の強化を図っていくとしている。

